

平成 30 年度 第3回 飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会

議 事 録

日時：平成 31 年 3 月 20 日（水）

15：30～16：15

場所：飛島村役場 第4会議室

1. 開 会

○司会

ただいまから、平成 30 年度第 3 回飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を始めさせて頂く。

○村長挨拶

【開会挨拶】

こんにちは。本日は忙しい中、法定協議会に出席いただき誠にありがとうございます。

当事業の推進にあたりまして、皆様には格別のご配慮をいただき、感謝申し上げます。

本日の会議は、議事次第の通り、利用実績と法定協議会設置要綱の一部改正の報告と、議事として、平成 30 年度の法定協議会収支補正予算、平成 31 年度の事業計画及び収支予算について協議させていただきます。

当事業の多数の利用がなされるように、必要に応じて改定を進めていく必要があります。

皆様の専門性にご経験に基づく、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。よろしくお願い致します。

○事務局

資料確認

当協議会は、協議会会議運営規定に基づき会議録を開示させていただきます。

また、定数の過半数を超える委員の出席を頂いていますので、協議会設置要綱に定める会議としての成立要件を満たしております。

○座長（伊豆原教授）

こんにちは。春めいてきました。桜の便りも聞こえてきました。

飛島のバスについて、蟹江線についてはびっくりするぐらい利用が増えています。愛県内でもこんな増え方をしているところはないのではないかと。

また、名港線については少し減少していましたが、秋以降増えているのではないかと思います。

住民の皆さんだけでなく、飛島村に勤めていただいている方の利用もあり、地に足の着いた状況になっていると感じます。サービス内容も少し改定に向けた対応も考える必要が出てきています。良いシステムにするために、皆さんの忌憚のないご意見をお願いしたい。

それでは、議事に入りますが、初めに議事録署名人を選任させていただきます。議事録署名人については、偕行会リハビリテーション病院の澤田様、名古屋近鉄タクシー㈱の水谷委員を選任させていただきます。

本日は、報告事項が 2 件、議案が 2 件です。限られた時間ですが、積極的にご意見を願ひし

たい。

2. 報告事項

(1) 飛島公共交通バス利用実績について（資料1）

○事務局

資料説明

○座長（伊豆原教授）

ありがとうございました。利用実績について報告ありました。何かご質問、ご意見等ありますか。よろしいですか。蟹江線の増加について、これだけ利用が増えていることはうれしいことですが、状況について事務局から報告ありますか。

○事務局

通勤通学の利用が順調に増えている。飛島村に来られる方も増えているのではないかと思います。広報周知していること、ロケーションシステムの導入も効果があったのではないかと。

○座長（伊豆原教授）

便数の対応も効果があったと思う。積み残しはないか。

○事務局

今のところ積み残しは聞いていない。

○座長（伊豆原教授）

よろしいでしょうか。蟹江線の利用は増えています。海南病院通院支援タクシーも前半利用が少なかったが、後半増えている月もある。名港線も横ばいの状況でした。

利用状況を確認させていただいたということによろしいか。特にご異議ないようなので、確認したとします。

(2) 飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会設置要綱の一部改正について（資料2）

○事務局

資料説明

○座長（伊豆原教授）

ありがとうございました。設置要綱の一部改正について説明いただいた。何かご質問、ご意見等ありますか。任期を明確にした。書面決議について具体的に規定した。

軽微な変更は書面決議とするという点は確認をお願いしておきたい。

書面決議について、例年春に鉄道のダイヤ改正がある。飛島バスも近鉄の変更にあわせて改善することがある。これは事務局で柔軟に対応して、事後の書面決議の可能性もあることを、ご承知おきいただきたい。

よろしいか。追加事項も含めて、確認いただいたとします。

3. 議 事

議案第 1 号 平成 30 年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会収支補正予算について

○事務局

資料説明

○座長（伊豆原教授）

ありがとうございました。今年度 30 年度の補正予算について説明がありました。何かご質問、ご意見等ありますか。

よろしいでしょうか。

ご異議なければ、全員のご了承をいただいたとして進めてよいか。

ご異議ないようなので、全員のご承認をいただいたものとします。

議案第 2 号 平成 31 年度飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会事業計画及び収支予算について

○事務局

資料説明

○座長（伊豆原教授）

ありがとうございました。31 年度の事業計画及び収支予算の説明です。何かご質問、ご意見等ありますか。

○塚崎委員代理（愛知県振興部交通対策課）

網形成計画の策定調査の予算を追加していますが、委託料の中に計上されていると理解してよいか。

○事務局

委託費の中に含まれている。

○愛知県 塚崎代理

網形成計画の更新スケジュールですが、計画の策定を 3 回の検討で進めるのか。

これまでの計画事業の分析、見直しは重要で、3 回の会議でよいか。

○事務局

意見は配慮したい。

○座長（伊豆原教授）

指摘については、専門部会の設置もあり、スケジュールでは明示していないが、必要に応じて専門部会を開催したい。指摘の点は配慮して進めたい。

○事務局

座長のご指摘の通り対応します。

○座長（伊豆原教授）

8月に住民アンケート、10月に利用者アンケートを予定している。

実は現在の網形成計画を作成したときにアンケートを実施しているので、その時の調査票をベースに実施されるだろう。調査について事務局の特別な考えはあるか。

○事務局

前回調査をふまえて座長の指摘の通り進めます。

○座長（伊豆原教授）

委員から検討にあたり何かアドバイスありますか。

○平井委員代理（中部運輸局愛知運輸支局）

スケジュールはタイトではないか。網形成計画の案を3月の会議だけで議論すること、いろんな意見が出るかもしれない。スケジュールについて考慮ください。

○事務局

ご意見をいただきましたスケジュールは再確認します。

3月の審議で計画がかたまらない場合は、6月にも協議します。

○座長（伊豆原教授）

飛島村の場合、蟹江線をはじめ3つの事業を進めています。事業内容は、ほぼ順調です。基本的には、今の事業を継続していく。

一部サービスを改善していくことが想定されますが、住民の皆さんからどんな意見、評価になるか、それら指摘で見直すことがあるかを確認した段階で、計画・事業を確認することになる。計画内容を事務局から提案いただき、内容を確認することになる。

アンケート調査のスケジュールを少し前倒しにして行い、後ろの検討がタイトにならないように進めましょう。

○澤田委員（偕行会リハビリテーション病院）

利用者アンケートの方法を説明ください。回収率はどうでしょうか。

○事務局

調査会社から説明する。名港線は、名古屋港停留所等の特定停留所での乗降が多いので、調査員が停留所に待機して利用者に調査票を配布する。蟹江線は、3台の車両で運行しているので、調査員が3台に乗り、利用者に調査票を配布する。海南病院通院支援タクシーは、交通事業者の協力を得て運転手から調査票を配布いただく。

回収率は、詳細のデータが手元にないので正確な数値は報告できないが、名港線と蟹江線はおおむね40%、タクシーは30%~40%の間の回収率だったと記憶している。

○座長（伊豆原教授）

名港線は、高速道路を通過する車両であり着座が必要であるため、調査員が車内で配布できないことから、停留所で配布をしました。

アンケートの説明がありましたが、今年の6月に法定協議会を実施しますので、アンケートを含めた調査方法について、確認いただければと思う。

予算については、燃料費や人件費の関係で、運行経費の変化があったと思います。

ご質問等ありますか。

もしなければ、議案2号について、異議ないとして、全員の了承をいただいたとしてよろしいか。

ありがとうございました。全員の了承をいただいたとします。

4. その他

○事務局

- ・今後の会議の予定について、次回会議は、6月末に開催させていただく予定です。

5. 閉 会

○事務局

以上で飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会を終了します。ありがとうございました。

以上